

作目名	なし
-----	----

## <露地栽培>

### ○技術体系設定の前提条件

#### (1)対象地域

岐阜、西濃、中濃、東濃、飛騨

#### (2)立地条件

##### ①気象条件

年平均気温 8～16℃（主産地＝同気温 12～15℃）の範囲にあり、作物生育期間（4～10月）平均気温 19～21℃、年平均降水量は 1,200～2,000mm 前後の地域とする。

##### ②ほ場条件

水田利用にあたっては、床や盤層の破砕、暗渠の設置などによって有効土層を厚くする。なし園全体の地下暗渠は、末端で排水可能な主排水路に必ず接続する。

水平棚には、防鳥ネットが開閉式のものを設置する。また、薬液の飛散防止のため棚周りにクルクルを利用した飛散防止装置を設置する。

中型管理機械（SS等）の効率的利用を進めるには、15ha以上の集団産地（組織）を形成し、これに農道、用排水路などの施設を共同完備するのが望ましい。

#### (3)目標収量と植栽間隔（10a 当たり） 品種：幸水

	植え付け～幼木	結実開始～若木期	成木期 ～ 老木期
樹齢(年)	1～3	4～10	11～30
収量(kg)	0	300～3000	3,000～3,500
栽植本数(本) (栽植距離)(m)	40 (5×5)	40 (5×5)	40 → 20 (最終＝7.1×7.1)計画的な間伐を行う。

### ○生育過程

月・旬 作型	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		備考 (品種)
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
露地栽培																								幸水	

✂ : 間伐・整枝せん定

⊙ : 摘らい

☆ : 開花

⊙ : 摘果

△ : 基肥

△ : 追肥

□ : 収穫

○土づくり・施肥

①土づくりの方法

たい肥等の種類	投入量	備考
牛糞主体完熟堆肥	1,000～2,000kg/10a	堆肥を大量に使用する場 合、カリ過剰に注意する。

②施肥基準（10a 当たり）

施肥成分	総量	基肥	追肥
窒素	28.0	19.6	8.4
りん酸	40.0	28.0	12.0
加里	12.0	8.4	3.6

※施肥設計にあたっては、堆肥中の有効成分を測定し、それを施肥基準から差し引き肥料の施用量を決定する。

※堆肥使用は原則として乾燥または完熟のものとする。また各ほ場の樹齢、樹勢に応じて施用量を加減する。

## <加温ハウス栽培>

○技術体系設定の前提条件

(1)対象地域

岐阜、西濃

(2)立地条件

平坦地 水田転換畑

(3)目標収量と植栽間隔（10a 当たり）

露地に準じるが、加温ハウス栽培は成木園で実施する。

○生育過程

月・旬 作型	1			2			3			4			5			6			7			8			9			10			11			12			備考 (品種)
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下				
ハウス栽培																															幸水						

✂ : 間伐・整枝せん定

⚙ : 摘らい

☆ : 開花

⚙ : 摘果

△ : 基肥

◻ : 追肥

◻ : 収穫

○土づくり・施肥

露地に準ずる。